

平成17年度 第8回 主要課題改革推進委員会
委員会終了後記者会見録

日時:平成 17 年 12 月 12 日(月) 12:09 ~ 12:13

場所:永田町合同庁舎第4会議室

司会 それでは、第8回「主要課題改革推進委員会」の記者会見を始めさせていただきます。早速ですが、御質問のある方は御自身の所属とお名前からよろしくお願ひいたします。

御質問ございませんでしょうか。

八代総括主査 聞いておられて、余りよくわからなかったかもしれませんが、今日のポイントは、要するに2つの試験調査をやるということはもう閣議決定されているのですが、そのインプリケーションが論点でした。この2つの統計だけについて試験調査を行い、民間開放を検討するのか、それともオーバーオールにやるのかということが今までもめていたんですが、本日、統計局長が明確に、それはオーバーオールにやるものだと説明された。例えば、小規模の企業統計をベースにした試験調査であるけれども、家計にも十分応用性はあるということもはっきり言われましたので、その意味では、こちらとしてはこちらの考え方が通ったと理解しております。

あとは、スケジュールであって、これはやはり専門家の意見も聞かなければいけないのですけれども、平成18年度中に、単に試験調査をやるだけではなくて、同時に類型化という問題も含めて、その応用についてもきちっと検討していただくということは明確に言っていたと思います。

何か事務局から御説明はありますか。

河室長 特にございません。

司会 御質問、よろしいでしょうか。

どうぞ。

記者 時事通信の貝田と申します。

今日の議論と直接関係なかったら申し訳ありませんが、前回の「経済財政諮問会議」で、公開された議事録で、宮内議長の方から、統計業務について総務省とは議論さえできなかったが、総務大臣から試験調査の実施などによる56あるすべての指定統計について前向きに御対応いただけるというニュースが入っていると宮内議長が御発言されているのですが、これは「規制改革・民間開放推進会議」の方と竹中大臣との間に何かやりとりがあったようでしたら御紹介いただきたいのと、今日の議論との関わりを教えていただけますでしょうか。

八代総括主査 これについては、私は聞いておりませんが。

記者 では、議長だけが御存じであるということですか。

河室長 実は、お聞きしていないので、宮内議長が「経済財政諮問会議」の場でそのよ

うにおっしゃったということはお聞きしておりますけれども、多分、その前日か前々日かわかりませんが、電話か何かでお話をされたのではないかとということで、私ども会議としてこのような形のものを持ってやるという形では、事実としてやっておりません。

ただ、一方において、事務局との関係で、これまで八代先生が入られたりして、今日こういうところは議論しなければいけないということはやってきましたが、それは今のお話とは別の話として、普通の話として、総務省と「規制改革・民間開放推進会議」の中での議論としては、夏ごろから今のような議論は、今日お話があったような議論をしてきました。ただ、先ほど竹中大臣との関係でどうのというのは、私どもは正直言って承知しておりません。

司会 ほかにはございませんでしょうか。御質問よろしいでしょうか。

それでは、これで記者会見を終了いたします。ありがとうございました。